

## 福祉・子育て（第1）分科会 # 2 2014.7.30

### 1 今日の分科会は

前回示された「あさひかわのまちづくり—福祉・子育て・健康…—に関する良いところや、問題だと思ふところ」に基づき、これらの分野の将来像について展望し、具体的な提言を検討したいと思います。

### 2 分科会運営のルール

- ①メンバーの意見を尊重しましょう（批判厳禁）。
- ②皆さんが意見を言える環境を作りましょう。
- ③お互いに協力しましょう。
- ④時間を守って進めましょう。

### 3 分科会 # 2の流れ

18:30～18:50	参加者のスピーチ②  本日の作業内容	・参加者のスピーチ②は、 小林さん 佐藤さん 酒本さん 塩川さん 白川さん 高田さん 中島さん の7名です。 1, 2分のスピーチよろしくお願いします！！ ・その後、今回の作業内容について、前回のグループワークを振り返りながら確認します。
18:50～20:25	職員ワーキンググループ  からの情報提供  グループワーク、発表	（裏面を参照）
20:25～20:30	本日のまとめ	・3グループの内容をまとめ、次回の作業内容の確認をします。
20:30	次回の開催について	・日程調整の結果、次回のテーマと作業方法をお知らせします。

## 4 今日のグループワークの進め方 テーマ：あさひかわの「福祉」「子育て」を展望する

前回と同様に、おおいに語り合いながら進めてください。

### ①あいさつ・役割分担

話し合いに入る前に、司会者(1名)・発表者(1名以上)を決めてください(オブザーバー・学生スタッフを除きます)。司会者の皆さん、時間のマネジメントをよろしくお願いします！

### ②職員ワーキンググループからの情報提供

あらかじめ送付した「第1分科会資料」に基づいて、職員ワーキンググループのメンバーより情報提供を行います。

### ③意見発表

事前にご提出いただいたワークシートに基づき、各自の意見発表を行います。ここで、皆さんの提案について詳しくお話しください。

模造紙のイメージ(別紙添付)

### ④模造紙に整理する

意見発表を行い、議論を行った結果、グループで「目指すまちの姿」について複数のヘッドライン(キャッチフレーズ)を考えて、模造紙に記入します。

また、具体的な提言について、①「私が行う」こと、②「市民が助け合い行う」こと、あるいは「企業・事業所が行う」こと、③「市が行う」こと、の3つに分けて記入します。

その際に、取り組むべき時期(短期・長期)についても(時間があれば)検討してください。

### ⑤発表する

発表前に模造紙を見ながら、話す内容を整理してみてください。

発表は決定した発表者が行いますが、発表者以外の方もどうかお手伝いをお願いします。

各グループ4分ぐらいで発表します。

(子育て支援・高齢者福祉・障がい者福祉)グループ

目指すまちの姿

まち

①私が行う!

②市民が助け合い行う! 企業や事業所が行う!

③市が行う!

委員 ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

旭川市総合計画市民検討会議（2014）（第1分科会）

## 第2回テーマ：あさひかわの「福祉」「子育て」を展望する

第1回分科会の内容を別紙に整理してみました。

第2回目以降の分科会では、①よいところをさらに伸ばす、②問題だと思ふところを改善するための、それぞれの具体的な提言を作成したいと思います。

その際には、①「皆さん自身が行う」こと、②「市民が助け合い行う」こと、あるいは「企業・事業所が行う」こと、そして③「市（行政）が行う」ことの3つに分けて考えてみたいと思います。

会議を円滑に進めるため、事前提出資料①・②につきまして、あらかじめ作成していただきたくお願いします。

そして、大変恐れ入りますが、「第3回目の日程調査（回答）」とあわせて、事務局（下記）まで事前送付をお願いします。

### ご返信いただきたい用紙

- ・事前提出資料①
- ・事前提出資料②
- ・第3回日程調査（回答）

返信締切：7月24日（木曜日）

返信先：FAX：26-0338（事務局：旭川ウェルビーイングコンソーシアム）

FAX送信が難しい場合は、遠慮なく事務局（26-0338）までお知らせください。

第1分科会

様

第2回分科会では、「高齢者福祉」についての具体的な提言の作成をお願いいたします。

裏面に書き方のイメージ（子育て支援にかんするあくまで一例）をお示ししましたので、参考にしてください。

今回は、「高齢者福祉」「子育て支援」「障がい者福祉」の3グループに分けましたが、市民にとっての生活課題は生活の基盤となる「地域」で生じていることから、提言作成にあたっては、いずれのグループの皆さまにおいても「地域」の視点を含めてご検討いただけると幸いです。

座長 栗田 克実

第1分科会メンバーリスト			
グループ	所 属	氏 名	
進行	旭川大学	栗田 克実	座長
	(アシスタント) 旭川工業高等専門学校 5年次	佐藤 奎都	
高 齢	旭川市居宅介護支援事業所等連絡協議会	大石 智也	副座長 情報提供
	旭川市老人クラブ連合会	大森 裕	
	旭川市社会福祉協議会	酒本 俊司	
	旭川市民生児童委員連絡協議会	山田 陽子	
	(オブザーバー) 保健所保健指導課	蛇見 祐美	
	(オブザーバー) 市立旭川病院経営管理課 (アシスタント) 旭川大学保健福祉学部 2年次	白川 亮 野口 諄介	
子 育 て	旭川民間保育所相互育成会	伊藤 康仁	情報提供 職員WG班長
	公募委員	工藤 未来	
	北海道子どもの虐待防止協会旭川支部	中島由美子	
	旭川大学	(栗田 克実)	
	(オブザーバー) 子育て支援部子育て相談課	小林 健太	
	(オブザーバー) 福祉保険部国民健康保険課 (アシスタント) 旭川大学保健福祉学部 2年次	羽川 太郎 横石 玲奈	
障 が い	旭川医科大学	塩川 幸子	副座長 情報提供
	公募委員	高田 好美	
	旭川市障害者総合相談支援センターあそーと	永瀬 充	
	(オブザーバー) 税務部税制課	上田 康平	
	(オブザーバー) 議会事務局総務調査課 (アシスタント) 旭川大学保健福祉学部 2年次	森田 康裕 木全 美樹	

## 【参考】書き方の例

### 1. 目指すまちの姿（まちづくりの方向性に関する目標）

#### ①あなたが目指すまちの姿は！？（ヘッドライン（キャッチフレーズ））

未来にわたって市民が互いに支えあう

まち

#### ②キャッチフレーズの補足説明があればお書きください。

市民のライフスタイルや福祉ニーズが多様化し続けるなかで、さまざまな立場・世代の異なる人がともに暮らし、未来にわたって互いに支えあうためには、人と人とのつながりを重視し、知恵と情報をうまく使っていくこと、さらに、それらを活用しながら、まちづくりを進めていくことが必要である。

これからは、新たな施設・設備を増やしていくことよりも、既存の施設・人材を活かしていくことが、大切ではないか。

### 2. 具体的な提言（「目指すまちの姿」実現のための具体的な課題）

#### 提言①【私が行う】

残業を減らし早く家に帰って家族との接点を増やす。

#### 提言②【市民が助け合い行う】あるいは【企業・事業所が行う】

地域で子育てを支えてくれるしくみづくり。たとえば、近所の子育て経験者に子育ての相談に乗ってもらう。また、緊急時には子どもを預かってくれる。

#### 提言③【市が行う】

既存の保育所の機能を拡充させる。たとえば、24時間保育の導入、夜間保育・病児保育を行う保育園をさらに増やすなど。

## 事前提出資料①

お名前	
-----	--

分科会当日にグループ構成員に配付いたします。

「(別紙)」は旭川市の「福祉」「子育て」等の現状に関するメンバーからの意見です。よいところをさらにのばし、問題だと思ふところを改善するためにすべきことは何でしょうか。  
同封しました「第1分科会資料」「地域資源・地域課題」もお読みいただき、アイデアをお寄せください！

### 1. 目指すまちの姿（まちづくりの方向性に関する目標）

①あなたが目指すまちの姿は！？（ヘッドライン（キャッチフレーズ））

--

②キャッチフレーズの補足説明があればお書きください。

--

## 事前提出資料②

### 2. 具体的な提言（「目指すまちの姿」実現のための具体的な課題）

上記1で示していただいた「まちの姿」を実現するために、（高齢者福祉・地域福祉）（障害者福祉・地域福祉）（子育て支援・地域福祉）分野の具体的な提言をお書きください。

提言①【私が行う】

提言②【市民が助け合い行う】あるいは【企業・事業所が行う】

提言③【市が行う】

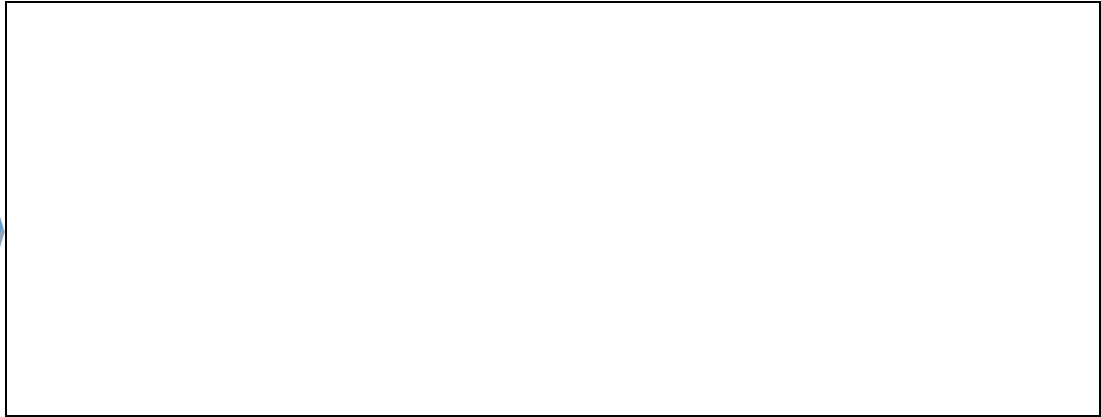
模造紙とりまとめイメージ

( 子育て支援 ・ 高齢者福祉 ・ 障がい者福祉 ) グループ

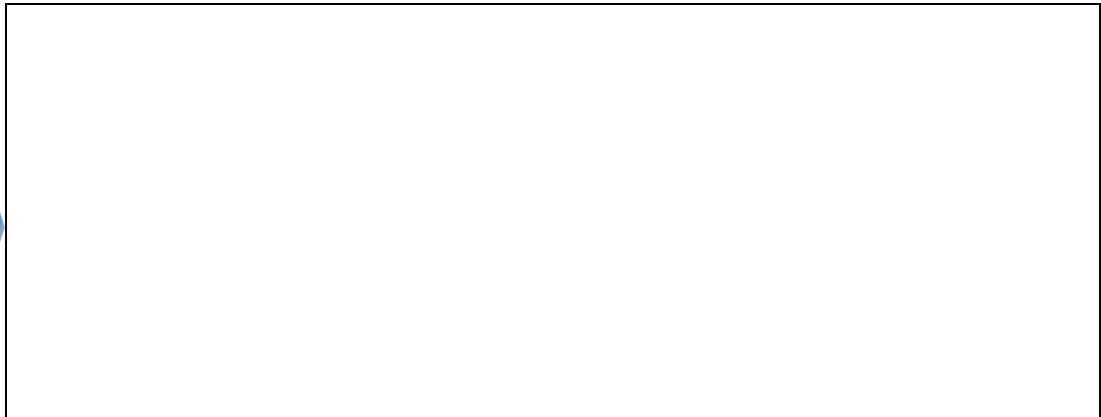
目指すまちの姿

まち
----

①私が行う！



②市民が助け合い行う！企業や事業所が行う！



③市が行う！





委員 ( ) ( ) ( ) ( )



(別紙)

## 第1回：あさひかわの「福祉」「子育て」総点検（まとめ）

※項目の最初に付された①②などの数字はシールの数（6/10 会議の最後に全員で貼付）を表します。

 良いところ		 問題だと思うところ
<ul style="list-style-type: none"><li>③ 4世代が暮らす</li><li>② 高齢者の福祉施設（介護福祉施設等）が多いため、待機高齢者が少ない</li><li>② 健康で活動的な高齢者が多い<ul style="list-style-type: none"><li>・老人クラブが多数あり、趣味を生かして参加できる</li><li>・他地域に比べてサービスが豊富である</li><li>・介護保険サービスが充実している</li></ul></li></ul>	高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"><li>④ 生活困窮者のうち、高齢者の割合が多い</li><li>① 高齢者の数が増加する中で、支える人が減少している</li><li>① 老人クラブへの参加率が少ない。参加者が固定化しつつある<ul style="list-style-type: none"><li>・単身高齢者が増えているにもかかわらず地域のつながりが希薄であり、生活の質が不安である</li><li>・認知症の人が増加している</li><li>・独居の高齢者が多い</li></ul></li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>⑤ もりもりパークやカムイの里など子どもをつれて遊びに行ける場所がある</li><li>⑤ 親子連れで利用できる場が多い</li><li>④ 比較的人口が多く、都市機能を有しているため、子育てする上で不利にならない</li><li>① 子育てサークルがたくさんある<ul style="list-style-type: none"><li>・子育てに関する相談所がたくさんある</li><li>・保育所が多い</li><li>・子どもを産む場所に困らない</li><li>・公園が多い</li><li>・雪が降る（子どもが喜ぶ）</li><li>・赤ちゃんが過ごしやすい気候である（夏：比較的涼しい、冬：家が暖かい）</li></ul></li></ul>	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"><li>⑥ 世代間に関わることが少ない</li><li>① 犯罪率が高いので「子育て」不安</li><li>① 保育料が高い</li><li>① 医療費補助が少ない</li><li>① 子育てをしている人たちの余裕がない（経済面、心理面、時間など）</li><li>① 外遊びをする子どもが少ない</li><li>① 体力不足の子どもが多い（肥満傾向）</li><li>① 子育て家族同士のつながりが薄い</li><li>① 人工妊娠中絶が多い</li><li>① 市の行っている子育て支援が見えにくい</li><li>① 子どもを安心して遊ばせられる場所が減っている<ul style="list-style-type: none"><li>・離婚率が高い</li><li>・保育施設の職員の非常勤が多い</li><li>・地域で子育てというビジョンが見えない</li><li>・地域で子育てをしようとする意識がない</li><li>・子育て支援は親を支援するという施策が見えない</li><li>・地域（家の近所）に子どもが遊べる場所が少なくなった</li><li>・子どもだけで遊びに行ける場が少ない</li><li>・児童館がない地域がある</li><li>・待機児童がゼロではない</li></ul></li></ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 社会資源が多い</li> <li>② 他地域に比べて障がい者支援サービスが豊富</li> <li>① 「おびった」があるので、障がい者の拠点がある <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者の福祉施設が多いため、障害のある方と向き合う機会が多い</li> </ul> </li> </ul>	障がい者福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 障害者の就労の機会が少ない</li> <li>① 誰かにとっては便利でも誰かにとっては障壁となるものが存在しており、障がい者が暮らしやすい街づくりになっていない <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害サービスの利用者が多い</li> <li>・ 学校の特別支援児童が多い</li> <li>・ バリアフリーが進んでいない</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 医療機関が多いため、患者側が選ぶことができる</li> <li>⑤ 医療、教育等北海道の拠点都市である</li> <li>② 大きな病院がある</li> <li>② 他市に比べ医療機関が多く充実している</li> <li>① 病院で技術の高い医療を受けることができる</li> <li>① 医療機関がたくさんあって掛かりやすい <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合病院が複数あることで安心感がある</li> <li>・ 医師や看護師の学校がある</li> </ul> </li> </ul>	保健医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 国民健康保険料が高い</li> <li>① 医療機関の待ち時間が長い</li> <li>① 一人あたりの医療費が全道でも高い <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「名医」と呼ばれる医者が少ない</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 高齢者の意識は高いと思う <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の健康づくりに力を入れている</li> </ul> </li> </ul>	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>③ 子ども・若者の意識は低いと思う <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の体について主体的に学習することが少ない</li> </ul> </li> </ul>

<p>④「福祉」を学べる学校がある</p>	<p>地域</p>	<p>④人と人がつながりにくい</p> <p>③住民参加型と専門職（機関）との協働による包括的なシステムの創造が必要ではないか</p> <p>①有効活用されていない空き地が多い</p> <p>①困っている人への危機意識、危機介入</p> <p>①地域で孤立してしまう人がいる</p> <p>①地域包括ケアシステムの構築が見えない</p> <p>①全ての（あらゆる）相談を受け（入り口）解決するしくみ（出口）が無い→制度を超えた包括的なケアシステムが必要ではないか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に利用できる（市が管轄の）施設が少ない</li> <li>・リーダーがいない</li> <li>・町内会の後継者がいない</li> </ul>
	<p>低所得者福祉</p>	<p>①自立支援サービスがあるわりに生活保護世帯が多い</p>
	<p>上記以外</p>	<p>⑦福祉の縦割り、専門分化</p> <p>①高齢者と子育ての予算や考え方が曖昧である</p> <p>①福祉・子育て・健康・医療のすべてにおいて旭川市の考えが見えてこない</p> <p>①若者の移住・定住</p> <p>①共存していくための環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールソーシャルワーカーが旭川には1人しかいない</li> </ul>